

## 安全

### 5-4 ガスを扱う際の注意点は理解していますか？

ガスは、都市ガス、プロパンガスから家庭用カセットボンベ、ヘアスプレーなどで身近に使われている。ガスの種類も様々で、それぞれに対して正しいガスの取扱いをする必要がある。例えば、都市ガスはメタンガスが主成分なので天井に溜りやすく、プロパンガスは空気より重いので床に溜りやすい。

#### ガスを扱う際の注意点

- 1 古いガス管、コンロ、ストーブなどは、使用しない。特にひびなどの入ったガス管はガス漏れの原因になるので速やかに交換する。（一時的に補修したガス管も使用してはならない。）
- 2 ガスの点火、消火は必ず目で確認する。また、ガスを使用した場合は、使用終了時に必ずガスの元栓を含めすべてのコックを閉める。
- 3 ガス管の接続部には、必ず止め金を使用する。また、使っていないガス栓にはゴムキャップをする。
- 4 ガス管、ガスコンロ、ストーブ、それらの接続部には異常がないか常に点検する。
- 5 ガス管は足で踏んでもつぶれない強化ガスホースやコンセントホースなどを使用する。
- 6 ガス器具の近く及び上には燃えやすいものは絶対に置かない。
- 7 ガスコンロ、ガスバーナーなどを木製などの可燃性の台に置かない。必ず金属や無機質などの不燃性の台に置くこと。
- 8 カートリッジ式コンロ用缶、スプレー缶（化粧品・殺虫剤など）の使用済みの缶を廃棄するときは、穴を開け、ガスを抜いてからゴミとして出すこと。そのまま捨てると、加熱膨張により爆発の危険がある。
- 9 ガス漏れ警報機を設置する。都市ガスは軽いのでガス器具のある室内の天井から約30cmの所に、また、プロパンガスは重いので床から30cm以内の所に設置する。ガス漏れ警報器には有効期限があるので注意すること。
- 10 LP ガスを用いたヘヤスプレー、殺虫剤などは火の近くで使用しないこと。（タバコも注意）
- 11 一酸化炭素中毒防止のため、不完全燃焼がないように気を付ける。同時に部屋の換気に十分注意をする。
- 12 ガスは目に見えないので空気中に漏れると大変危険である。そのために都市ガス、LPガスは臭いを付けてある。生活、実験の上で十分に注意し取り扱うこと。

スプレー缶などのガス爆発が頻発している。取扱いに注意すること。